

水と油と高分子のスペシャリストとして社会の発展に貢献する

第3四半期業績の概要

(平成24年9月1日～平成24年11月30日)

株式会社**MORESCO**

MORESCO Corporation

<http://www.moresco.co.jp/>

東証一部 5018 (石油・石炭製品)

2013年1月

株式会社Moresco

Moresco Corporation

神戸市中央区港島南町5丁目5番3号

設立	1958年10月（昭和33年）
代表者	代表取締役会長 中野正徳 代表取締役社長 赤田民生
従業員数	279人[単体]、519人[連結] （2012年8月末日）
資本金	1,526百万円
事業内容	特殊潤滑油、素材、ホットメルト接着剤などの 化学品の開発・製造・販売
売上高	18,656百万円（2012年2月期：連結）
経常利益	1,303百万円（2012年2月期：連結）

MORESCOグループの国内外拠点



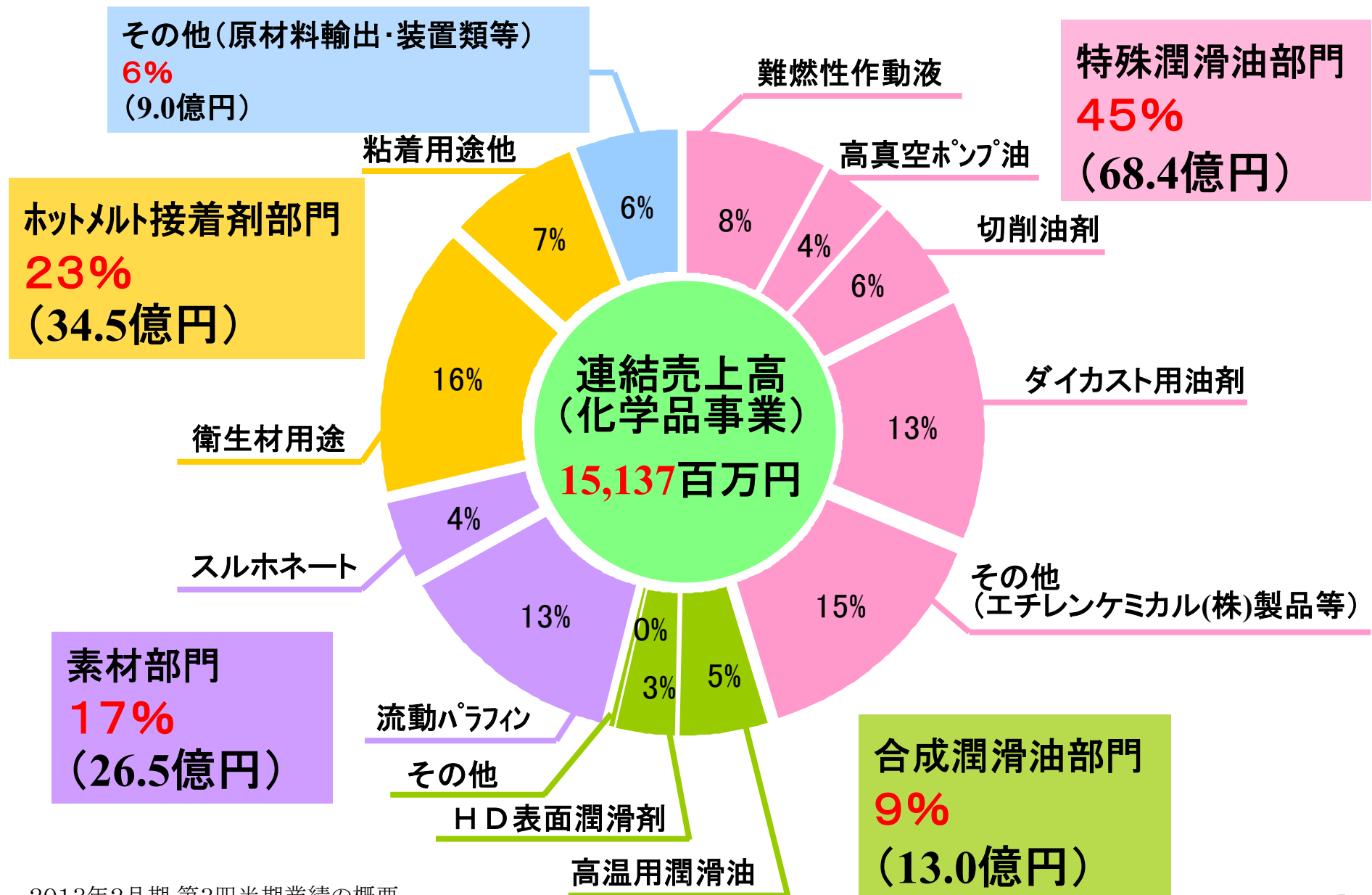
事業内容

MORESCO

売上比率(12年2月期)

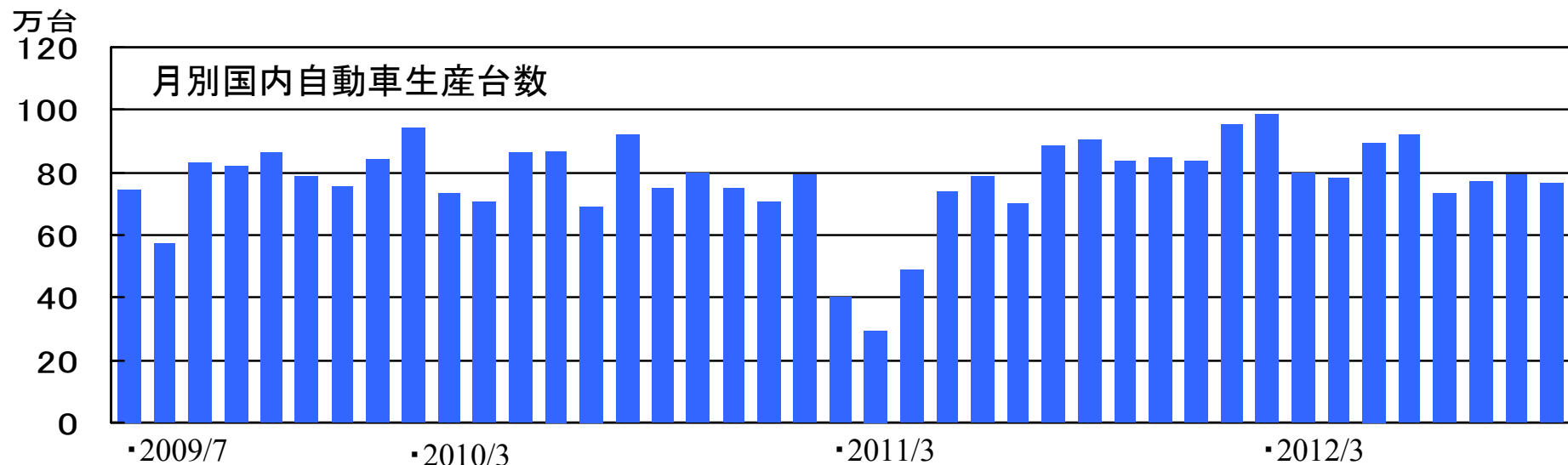
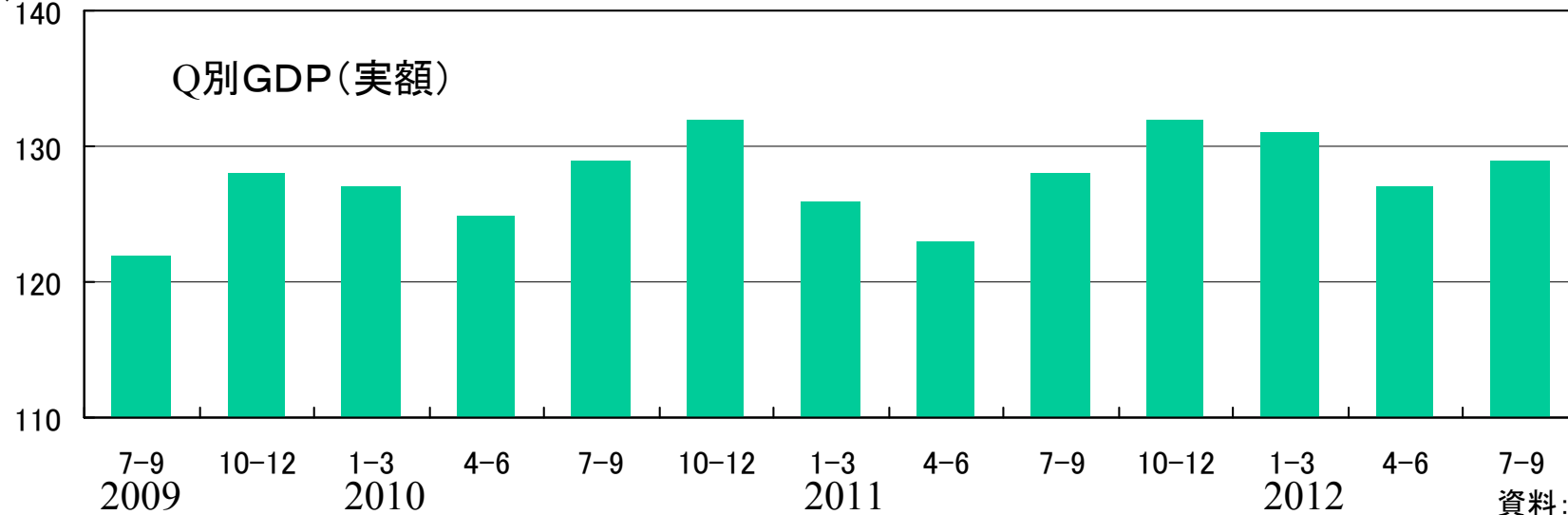
化学品 事業	特殊潤滑油部門	自動車、鉄鋼産業等向けの 特殊潤滑油	43%
	合成潤滑油部門	自動車用高温グリス原料、 ハードディスク表面潤滑剤	8%
	素材部門	化粧品・ポリスチレンの原料油、 LiB膜生産用、他	19%
	ホットメルト接着剤部門	紙おむつ等の衛生材、ラベ ル・自動車向け等の接着剤	24%
関連 事業	廃水処理装置・処理薬剤等の販売 (株式会社マツケン)		6%
	分析試験 (株式会社モレスコテクノ)		
賃貸ビル事業	モレスコ本町ビル(大阪市中央区備後町)		0.3%

化学品事業の売上高構成 (第3四半期累計) MORESCO



当期の経営環境(1)

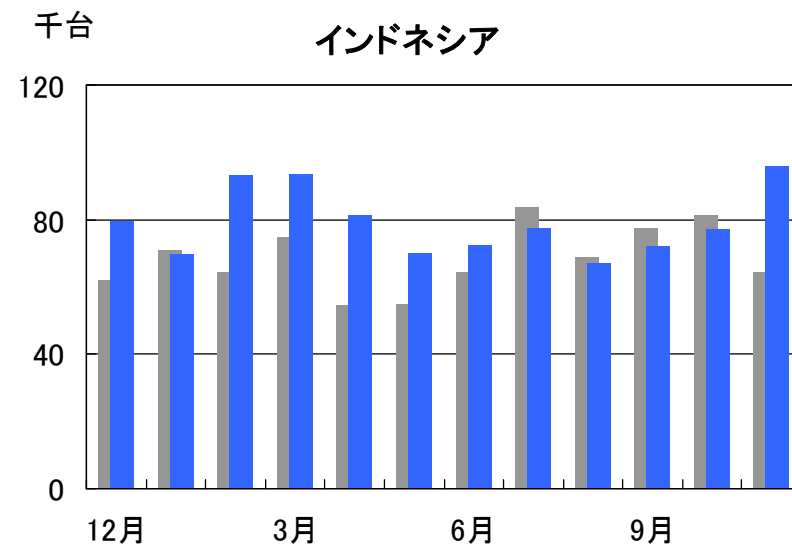
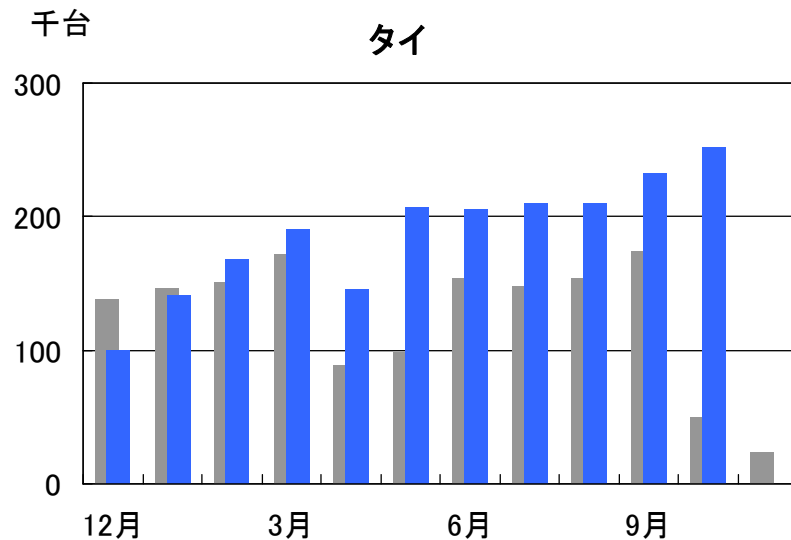
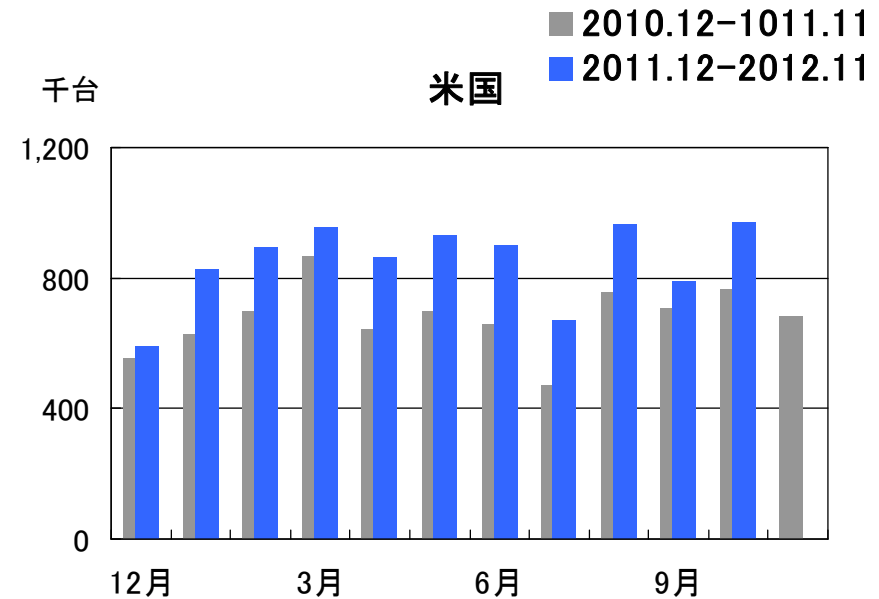
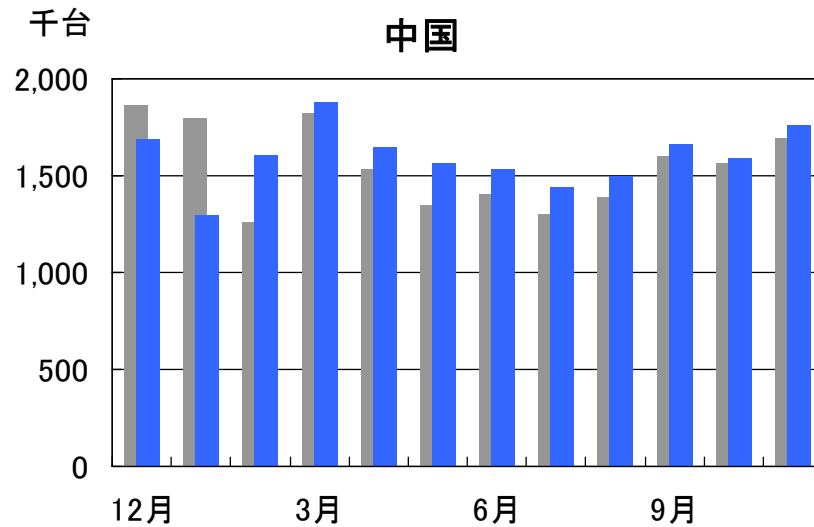
(兆円) GDPと国内自動車生産台数の推移



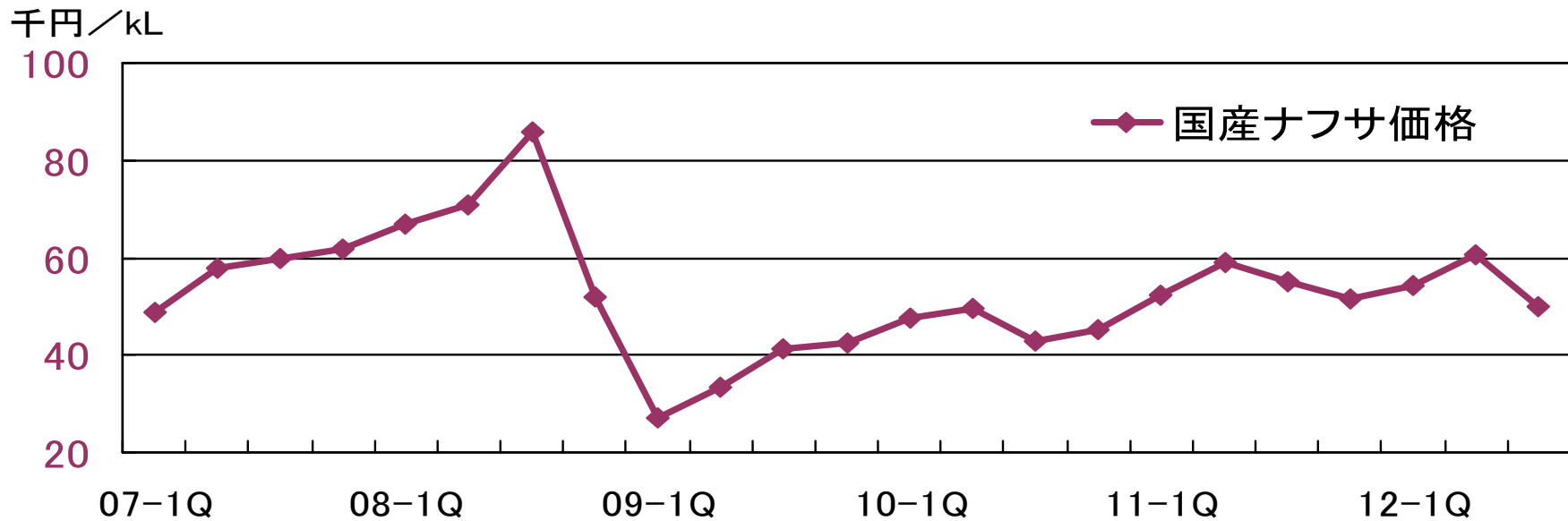
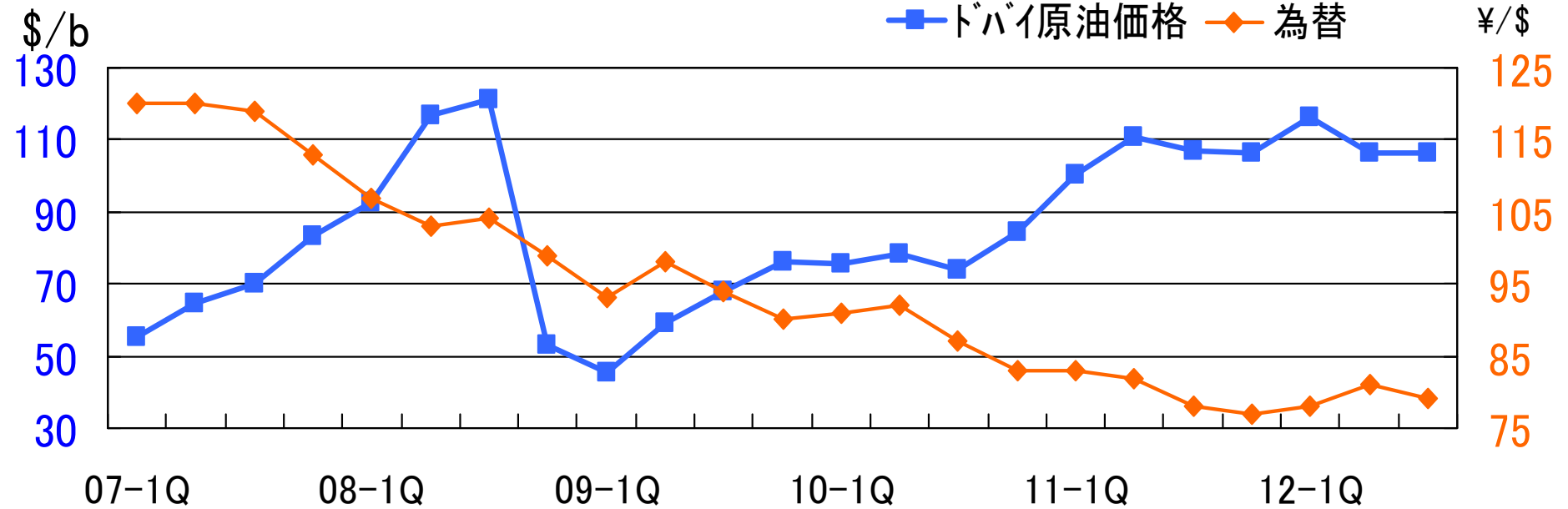
当期の経営環境(2)



海外自動車生産台数の推移



当期の経営環境(3)



2013年2月期 第3四半期業績の概要

暦年

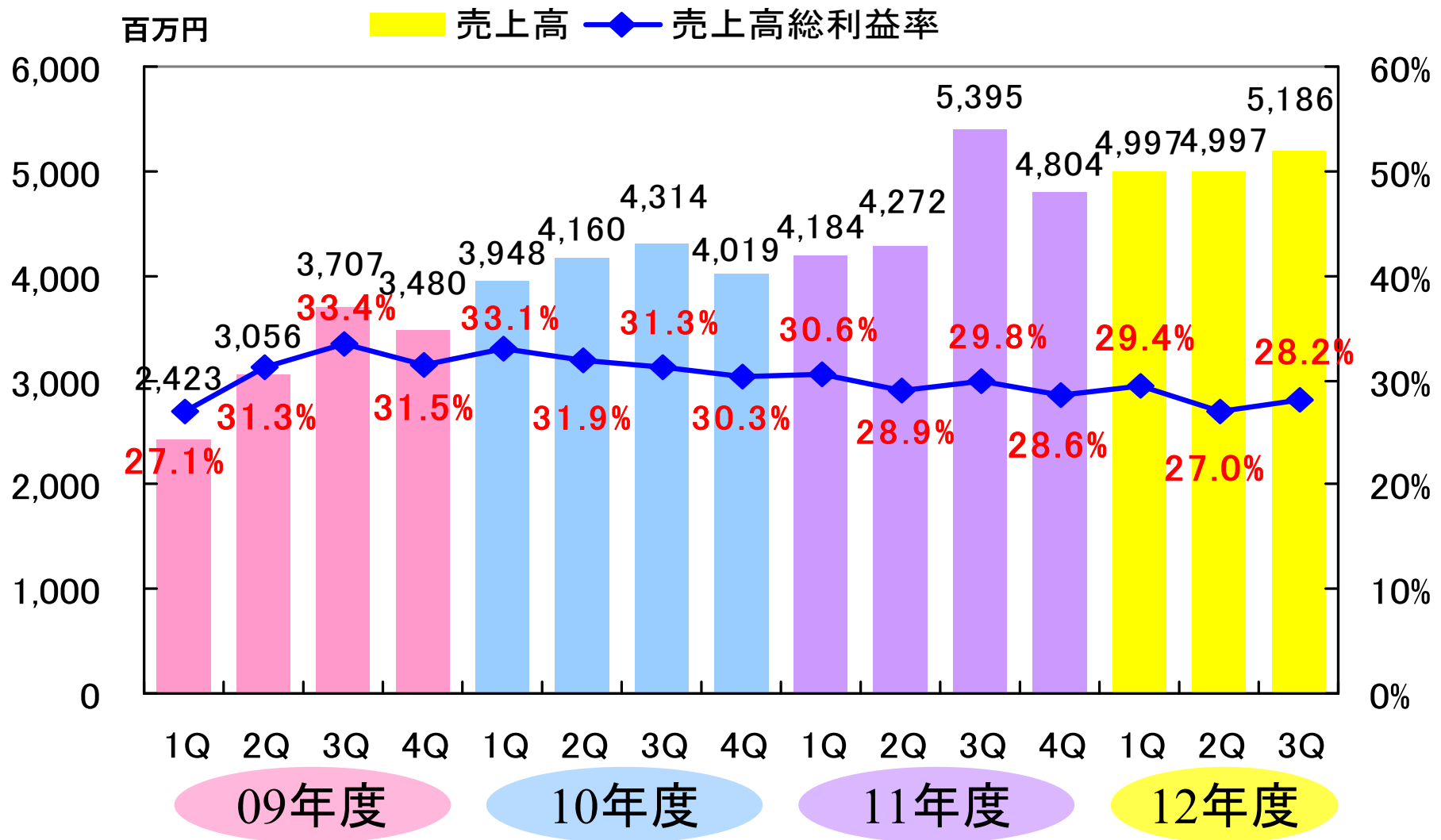
決算概要 連結損益計算書



単位：百万円

科目	10年3Q 累計	11年3Q 累計	12年3Q 累計	前年 同期比
売上高	12,422	13,851	15,180	110%
売上総利益	3,985	4,119	4,281	104%
販管費	2,943	3,181	3,531	111%
営業利益	1,042	938	750	80%
営業外損益	136	74	113	153%
経常利益	1,178	1,012	863	85%
税引前利益	1,127	1,011	870	86%
四半期純利益	751	598	511	85%

売上高,総利益率の推移



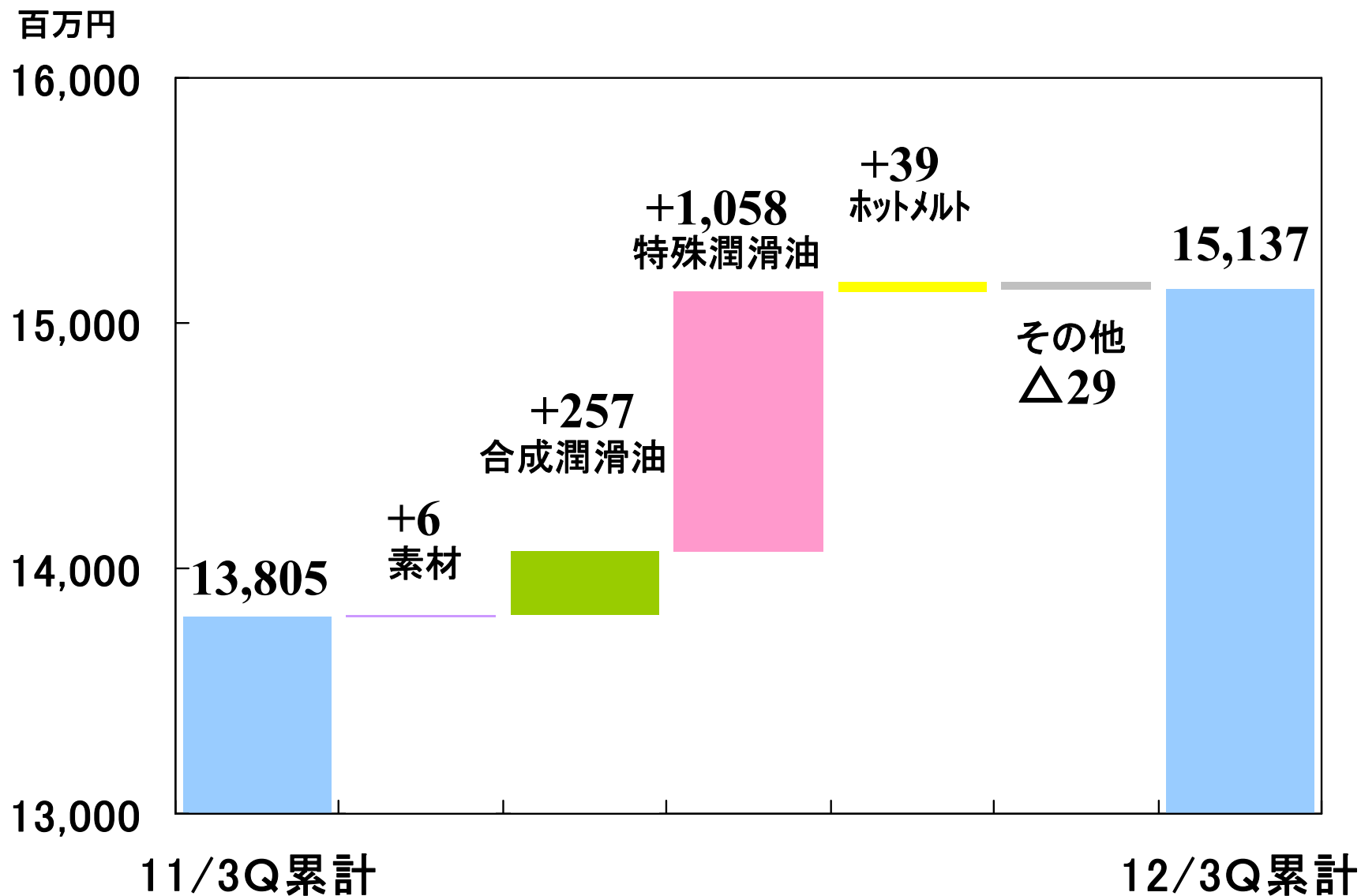
部門別売上高の内訳

MORESCO

単位：百万円

	11/3Q累計	12/3Q累計	前年比
特殊潤滑油部門	5,784	6,842	118%
合成潤滑油部門	1,040	1,297	125%
（うち、HD潤滑剤）	（253）	（482）	（191%）
素材部門	2,642	2,648	100%
ホットメルト接着剤部門	3,414	3,453	101%
その他	924	895	97%
化学品事業計	13,805	15,137	110%
ビル事業	46	43	93%
売上高合計	13,851	15,180	110%

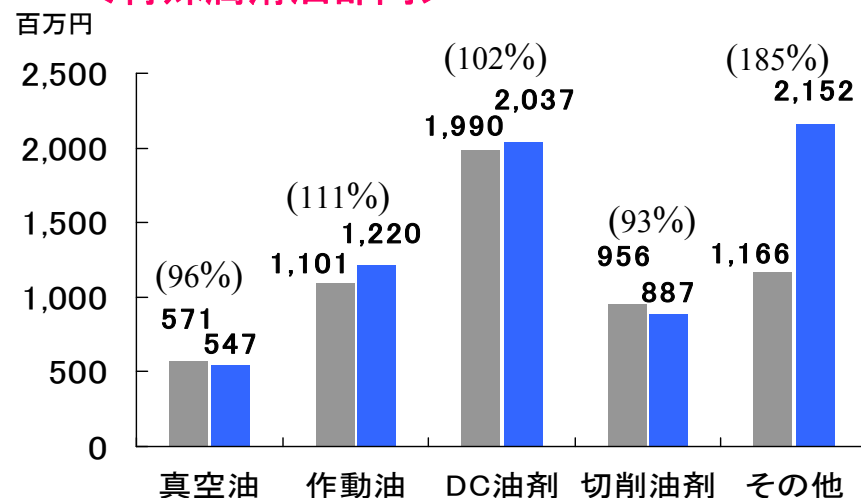
部門別売上高の増減



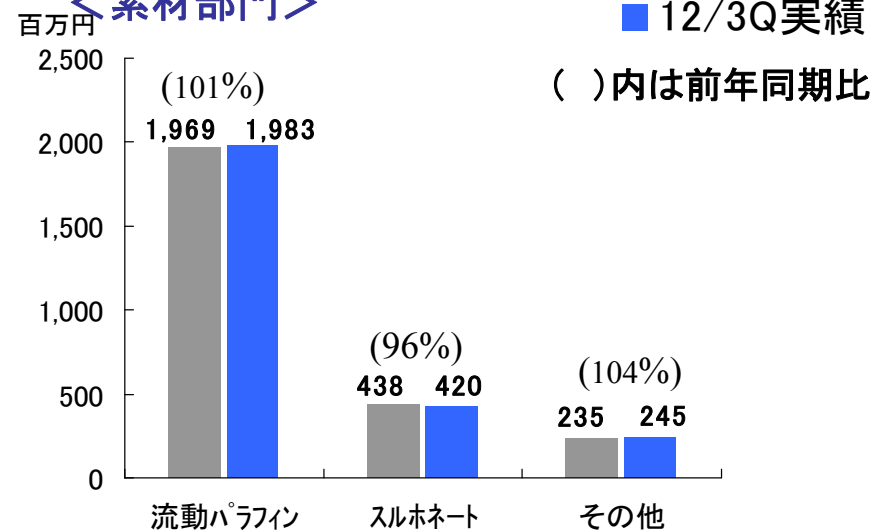
3Q部門別・製品群別売上高(累計)



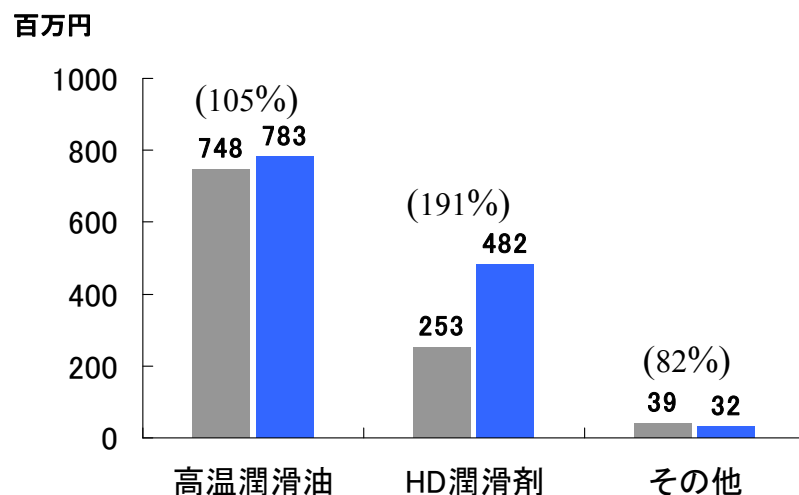
<特殊潤滑油部門>



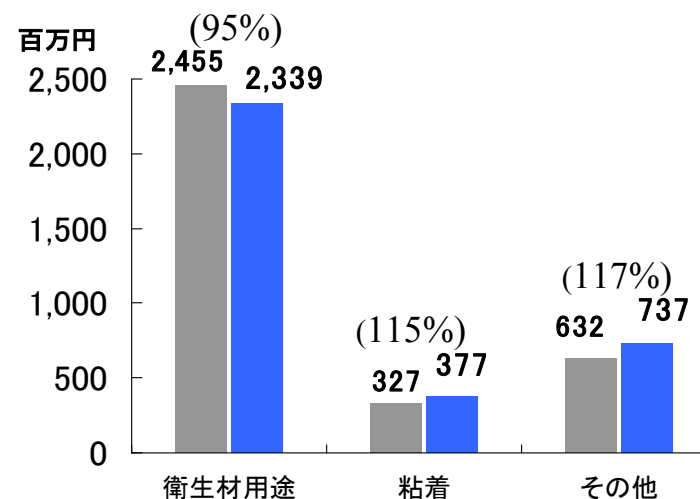
<素材部門>



<合成潤滑油部門>



<ホットメルト接着剤部門>



3Q累計 部門別売上の概況

	前年同期比	
特殊潤滑油部門 (高真空ポンプ油) (難燃性作動液) (切削油剤) (ダイカスト油剤) (冷熱媒体)	118%	<ul style="list-style-type: none"> ・国内自動車生産台数の伸び悩みにより、ダイカスト用油剤、切削油剤の売上高が伸び悩む ・エチレンケミカル(株)の連結子会社化による売上高の加算(ブレーキオイル、ロングライフクーラント他)
合成潤滑油部門 (高温用合成潤滑油) (ハードディスク表面潤滑剤)	125%	<ul style="list-style-type: none"> ・高温用潤滑油のグリース基油は、中国を中心とする自動車生産の拡大により、堅調に推移 ・ハードディスク表面潤滑剤は、高性能新製品の採用が進み過去最高の売上高を維持
素材部門 (流動パラフィン) (スルホネート)	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・流動パラフィンは、ポリスチレン樹脂添加剤向け用途が堅調に推移 ・スルホネートは、海外への輸出が円高の影響を受け減少
ホットメルト接着剤部門 (衛生材用途) (粘着用途) (その他用途)	101%	<ul style="list-style-type: none"> ・大人用紙おむつなどの衛生材料向けは引き続き高水準を維持 ・新製品の自動車用反応型ホットメルト接着剤の需要が好調

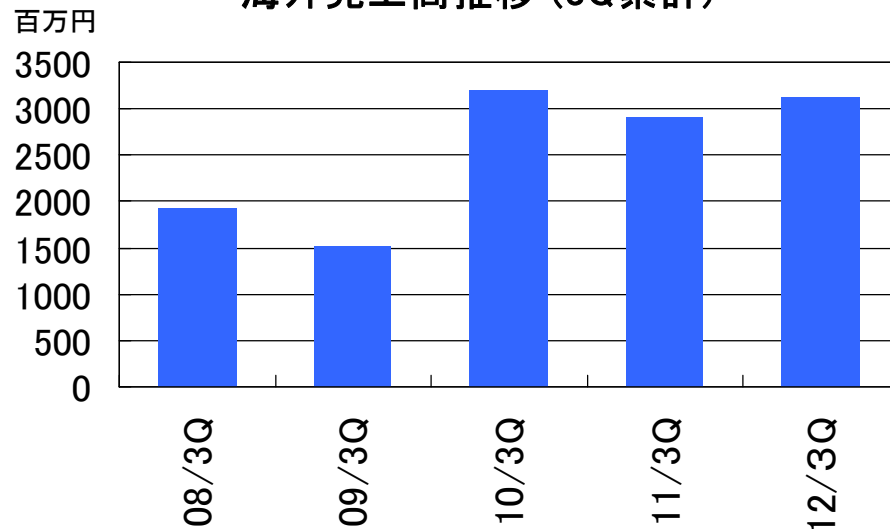
海外売上高

MORESCO

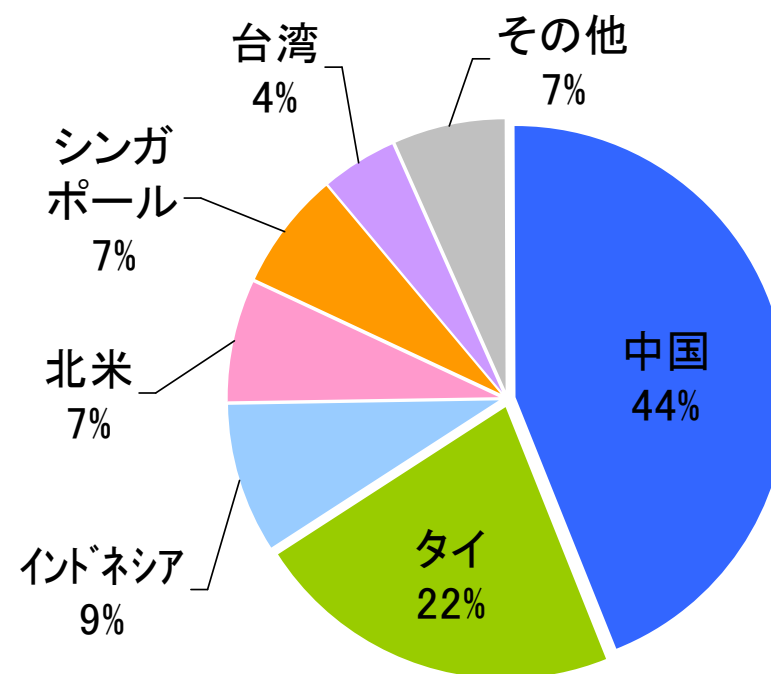
単位：百万円

	11/3Q累計	12/3Q累計	前年同期比
海外売上高	2,903	3,124	108%
海外売上高比率	21.0%	20.6%	

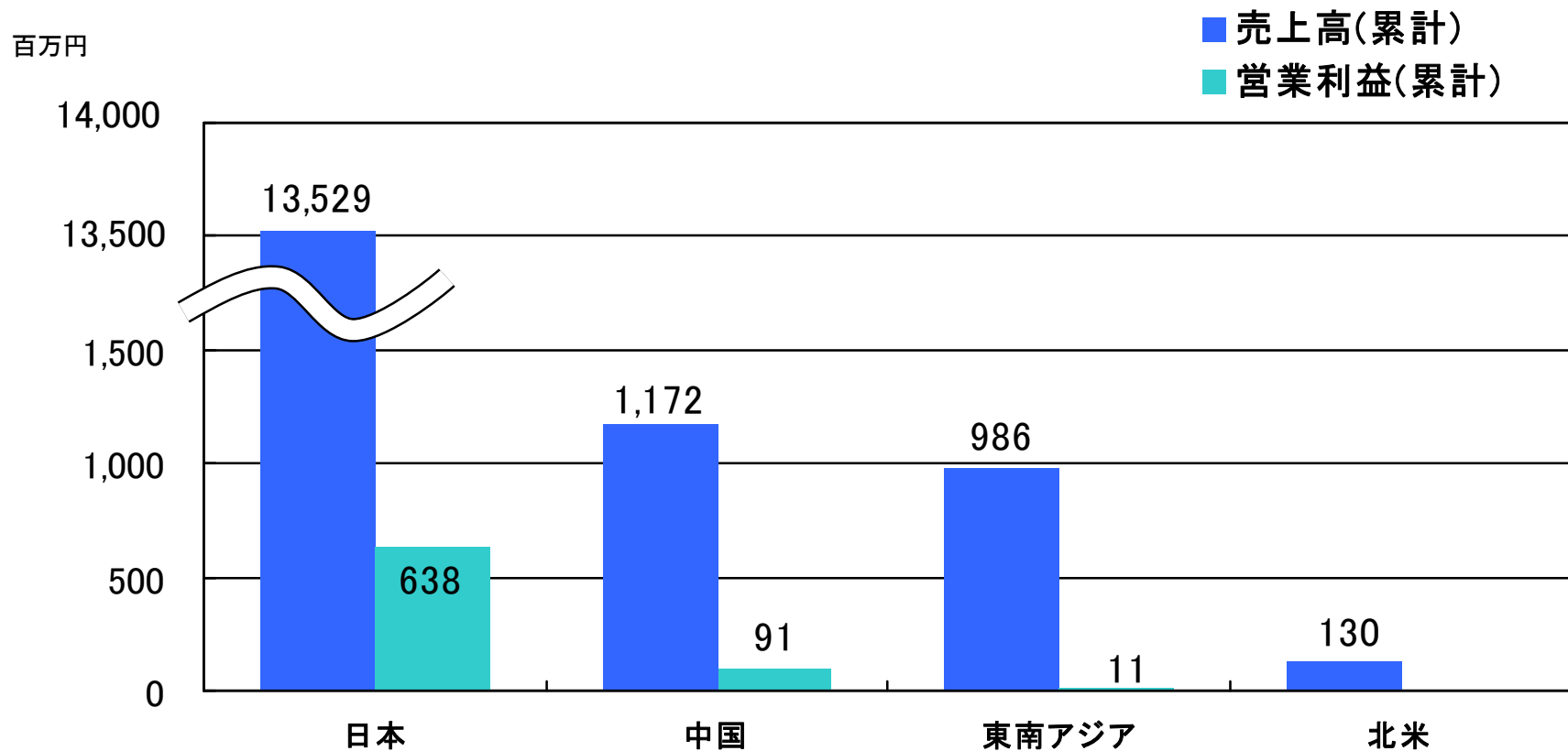
海外売上高推移 (3Q累計)



12/3Q累計 国別売上高比率



報告セグメント別売上高・営業利益



	日本	中国	東南アジア	北米
利益率	4.7%	7.7%	1.1%	—

販売費・一般管理費

MORESCO

単位：百万円

	11/3Q 累計	12/3Q 累計	増減	前期比
販売費・一般管理費	3,181	3,531	+350	111%
うち、研究開発費	683	730	+47	107%
売上高販管費比率	23.0%	23.3%		

<経費の増加要因>

- ・エチレンケミカル連結子会社化
MORESCO INDONESIA、
MORESCO MACRO ADHESIVE設立の影響
- ・償却費の増加(パイロットプラント等)
- ・コンピュータシステム再構築

主要連結対象個別各社の業績（累計）



	売上高(百万円)			経常利益(百万円)		
	11年 3Q	12年 3Q	前年 同期比	11年 3Q	12年 3Q	前年 同期比
MORESCO	11,139	11,418	103%	740	660	89%
マツケン	519	444	86%	38	23	60%
モレスコテクノ	178	173	98%	34	14	40%
エチレンケミカル	749	1,918	256%	70	141	202%
MORESCO(Thailand)	960	850	89%	69	62	89%
無錫松村貿易	592	654	110%	46	50	109%
莫莱斯柯花野(上海)	524	523	100%	74	43	58%
MORESCO USA	117	130	111%	△13	△15	—

無錫德松科技	1,072	1,103	103%	48	40	83%
--------	-------	-------	------	----	----	-----

(注) 海外グループ会社は12月期決算、エチレンケミカルは3月期決算(11年9月より連結)

連結業績進捗度

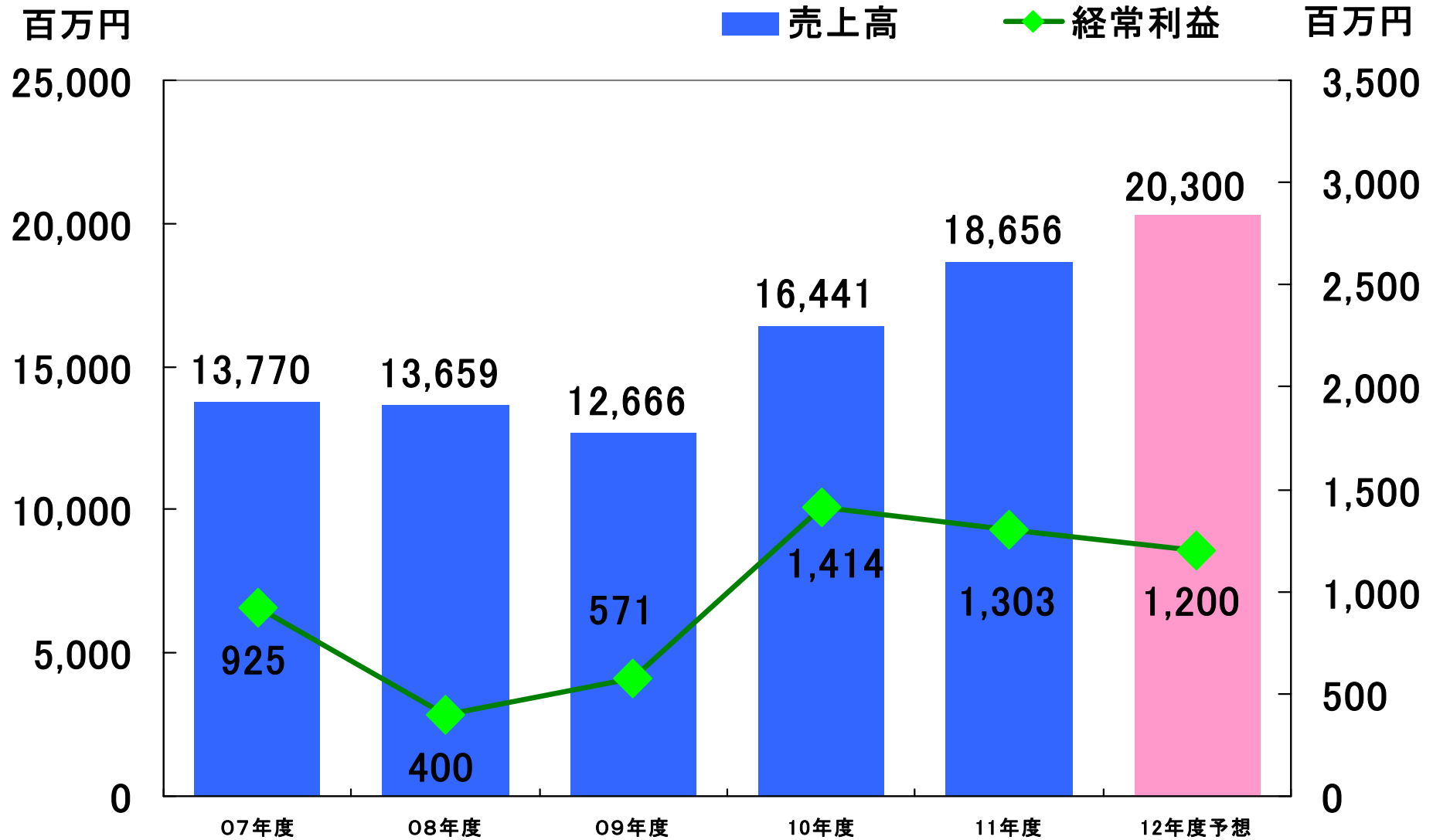


単位:百万円

	12/3Q 累計	通期予想 (2013.1.11修正)	3Q 進捗度
売上高	15,180	20,300	74%
売上総利益	4,281	5,900	73%
販管費	3,531	4,850	73%
営業利益	750	1,050	71%
営業外損益	113	150	75%
経常利益	863	1,200	72%
当期純利益	511	670	76%

連結 売上高と経常利益の推移

MORESCO



2012年度のトピックス1

(1) PT.MORESCO INDONESIAの本格稼動

2011年6月28日 インドネシアの生産拠点 12年4月生産開始
ダイカスト用油剤、難燃性作動液、切削加工油等の製造・販売

(2) PT.MORESCO MACRO ADHESIVEの稼動

2012年1月30日 出資比率 当社 51%
現地接着剤メーカーを傘下に有する PT.Macrochema Pratama 49%
衛生材料用ホットメルト接着剤の製造・販売



PT.MORESCO INDONESIA

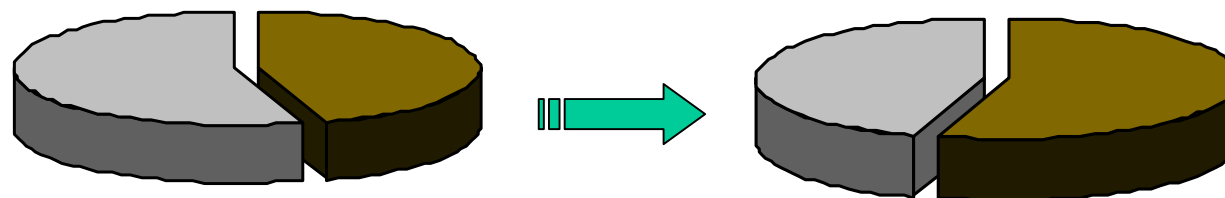


PT.MORESCO MACRO ADHESIVE

(3) 日華化学(株)との業務提携に関する基本合意

日華化学(名証2部・化学)との間で、日華化学が製造・販売するダイカスト用油剤および熱間鍛造潤滑油剤(以下、当該製品)について業務提携に関する基本合意を締結 (2011年11月1日)

- ・ 日華化学の日本国内外における当該製品に関する事業の譲受を検討する
- ・ 日華化学が生産する当該製品の主要原料について、MORESCOに長期間継続的に納入する体制を構築することを検討する
- ・ 日本国内外における当該製品およびその他の製品の生産、物流に関し、効率化・最適化を目的に、相互の業務委託等について検討する



ダイカスト用離型剤国内シェア 約4.2%→約5.4%

今後の課題と取組み方針

■日本国内における産業の空洞化

- 海外成長市場の開拓
- 現地ニーズの情報収集
- スピーディー、タイムリーな製品開発

■市場競争等による利益率の低下

- 次世代ニーズの情報収集
- オリジナリティーの高い製品開発

■環境ニーズの高まり

- 省資源・省エネルギーに貢献する高機能製品の開発

■円高と原料価格の高騰

- 海外ネットワークの強化による原料確保

本社・研究センター



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

株式会社**MORESCO**

<http://www.moresco.co.jp/>
IR窓口 078-303-9058(広報室)